

令和5年度 福井市の認定こども園、保育所等における質の向上のためのアクションプログラム
(園番号) No. 1 1 1 (園名) 御幸保育園

カテゴリー		園での取り組み (具体的なアクション内容・それを実現するための具体的な方法・手段)	年度末達成度 (◎・○・△・×)	備考
I 子どもの育ちを保障します	幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針等に基づき、福井の豊かな環境を生かした質の高い乳幼児の教育・保育を提供します	(1) 保育所保育指針に基づき指導計画を作成し、遊びの中での学びや5領域の視点と照らし合わせながら学びに視点をおいたエピソード記録を共有する。	(1) ◎	毎週1回エピソード記録を話し合う時間をもち、子どもの学びの姿を職員間で共有した。
		(2) 保育士の自己評価・行事後、年度末の保護者対象アンケートをもとに改善点など話し合い次年度にいかす。	(2) ○	
		(3) 保育カウンセラーやこども療育センターなどの専門機関と連携し、一人一人にあわせた支援を検討し、実践していく。	(3) ◎	カウンセラーや療育センターの先生の助言をもとに支援を見直し、実践につなげた。
		(4) マニュアルに基づいた食物アレルギー児への対応について全職員で共通理解を図る。	(4) ◎	全職員が連携し、園での受け入れ体制を安全に行った。
	保育者等の専門性及び資質の向上を図ります	(5) 園内リーダーを中心として園内研修を行い、専門性の向上と乳幼児保育の質の向上に努める。	(5) ◎	各クラスの悩みを話し合い、環境を見直したり、再構成を行ったりした。
		(6) 園長研修等に参加して情報を収集したり、職員間で共通理解を図ったりし、運営管理能力の向上に努める。	(6) ○	報告を行い、職員で共通理解した。
		(7) 職員一人一人に必要な資質向上のための研修計画を作成し、積極的に研修に取り組めるようにする。	(7) ◎	オンラインや公開保育の参観など積極的に研修に参加した。
II 子育てライフを支援します	認定こども園、保育所等を利用する保護者への支援の充実を図ります	(8) 個人懇談や送迎時に保護者と対話する中で、育児相談の充実を図ったり、情報を提供したりする。	(8) ◎	個人懇談や連絡帳を通じて、子育て支援の充実を図った。
		(9) 玄関掲示やクラスだよりなどで、園の保育内容や年齢発達にあわせた生活習慣などの情報提供を行う。	(9) ◎	月1回クラスだよりを配信し、子どもの成長や保育内容を伝えていった。
	地域子育て家庭への支援の充実を図ります	(10) 園開放日等のチラシを作成し、各機関に配布して情報提供をし、育児相談を行う。	(10) ○	
		(11) パンフレットなどで様々な事業やサービスの情報提供を行い、活用促進できるようにする。	(11) ○	
		(12) 園開放時などで随時子育て相談にも応じ、育児不安の軽減を図る。	(12) ○	園開放や園見学の際には子育ての悩みや質問に答えた。
III 多様な連携と協働を進めます	子育て・子育て支援のネットワークの中で認定こども園、保育所等の役割を発揮します	(13) 発達障がい児や気になる子について関係機関への情報提供を行い、連携した支援を行う。	(13) ◎	外部機関と連携をとりながら、その子にあった環境を整え、かかわり方を探っていった。
		(14) 地区の子育て支援に関する連絡協議会等に参加し、情報を共有する。	(14) ○	家庭・地域・学校協議会に参加し、情報を共有した。
		(15) 園小接続会議に参加したり、授業参観・保育参観などの交流をしたりして小学校との連携を深める。	(15) ◎	お互いに保育や行事を参観したり、園小連携会議に参加したりして、交流を深めた。
		(16) 子どもについての相互理解を図るため、関係機関とのネットワークづくりの強化に努める。	(16) ○	
	地域の教育・保育機能を強化します	(17) 公民館（地域子育て支援事業等）、児童館（子育て広場）で開催する行事に参加する。	(17) ○	けやきフェスティバルに5歳児が参加し、地域の方と温かい交流をもつことができた。
	IV 子育て文化を育みます	子育てへの関心を高めます	(18) 保育体験や職場体験、実習生の受け入れを積極的に行う。	(18) ◎
(19) 地域の子どもに園開放や縁日ごっこ・人形劇に参加してもらい子育て支援を広める。			(19) ◎	
子育て文化につながる活動を広げます		(20) 子育て支援活動で地域の家庭教育学級に参加する。	(20) ◎	家庭教育学級を開催し、親子の交流を図った。
		(21) 地域の関係機関担当者と連携し、行事に参加する。	(21) ○	
V 安心して子どもを 生み育てる支援づくりを進めます	子ども・子育て関連3法に基づくこれからの乳幼児の教育・保育について研究を進めます	(22) 研修に参加して得た情報を職員間で共通理解する。また、児童の権利条約などについても周知する。	(22) ◎	研究記録の回覧や報告会を通して、学んだことを全職員で共通理解を図った。
		(23) 園内研修で学んだことを、研究発表会や会議等で意見揭示を行う。	(23) ○	保育研究合同発表会（ウェブ開催）で研究の成果を発表したり、全職員が他園の発表を見て学んだりした。
	社会連帯による子育て支援の仕組みづくりを進めます	(24) アクションプログラムに基づいた活動計画案作成して実施し、評価していく。	(24) ○	今年度の成果を職員で共通理解し、課題を次年度につなげていきたい。

《園での取り組み》 24のアクションから、取り組む内容(番号)と具体的な取り組みを記載する。

《達成度》 ◎：当初計画していた目標を大きく上回り、優れた成果を上げた。 ○：計画どおりに取り組み、概ね目標を達成することができた。 △：不足する部分や問題があった。 ×：目標を達成することができなかった。

《備考》 達成度についての特記事項や次年度に引き継ぎたいことなどを記載する。